

おおかわじしゃ

Veronica Anagallis-aquatica L.
var. *Savatieri Makino*

溝の縁など湿った地に生える多年生草本。茎は太く長さ40-80cm、全体はほぼ無毛である。葉は対生し、長楕円形で上部の葉では先がやや尖り、基は柄なく茎を抱き、縁には低く小さい歯があり、長さ4-10cm巾1.5-3cm。5-6月、上部の葉腋から総状花序をだし、花序は斜上し淡紫色の多くの花をつけ、花後長くなる。花梗は細そく開出し、花より長く、萼は5深裂し、裂片は長楕円形で尖る。花冠は径6-7mm深く4裂し、上側の裂片が最も大きく紫脈がある。2雄蕊、1雌蕊。蒴果は卵円形で先はわずかに凹み、径約3mmある。カワジシャよりも各部大形である。



第 3330 図

すずめのはこべ

Microcarpaea minima Merril
(=*M. muscosa R. Br.*)

東南アジアに分布し我国の水湿地に稀に見られるごく小形の1年生草本である。全体無毛で茎は枝を分ち下部は泥の上に伏して節から根を下している。葉は対生し小さく、線形で鈍頭、長さ3-5mm巾1mm許。秋、葉腋に小さい花を1個ずつつける。花は殆ど柄なく、萼は長さ2-3mmで5裂し、裂片は卵状披針形で尖り縁に毛が生えている。花冠も小さく萼と殆ど同長、唇形で上唇は短く2裂し、下唇は長く3裂し中央片が最も大きく、縁に少数の毛がある。雄蕊は2本、雌蕊は1個。蒴果は楕円形で萼筒につつまれている。



第 3331 図

おくえぞがら

Rhinanthus glaber Lamarck
(=*R. Crista-galli L., p. p.*)

ヨーロッパからシベリア、樺太に産する1年生草本。茎は高さ20-50cm、直立し上部で枝をうつ。葉は対生し殆ど柄無く、披針形で縁に鈍鋸歯があり、長さ2-6cm巾3-10mm、上面はざらついている。7-8月、枝先に穂をなして花を開く。苞は披針状卵形で先が刺状にとがった深い鋸歯がある。萼は鐘状で先が4浅裂し、縁に細毛がある外はほとんど無毛、緑色で黒い線がある。花冠は唇形で長さ1.5-2cm、黄色で上唇は弓状半円形で先端に紫色の2小歯があり、下唇は短かく3裂している。4雄蕊。花がすむと萼は大きくホオズキの様にふくらみ円い蒴果をつつむ。



えぞひなのらすつぽ

Scrophularia Grayana Maxim.

我国北部の海岸に生ずる多年生草本。根は太くゴボウ状、茎も太く高さ30-60cm、4角で稜には顕著な翼がある。葉は対生し翼のある柄を有し、卵形で尖り、縁に密に鈍鋸歯があり、長さ8-15cm巾4-10cm、厚ぼったくほぼ無毛である。春夏、茎頂に円錐花序をなし多くの花をつける。花梗は長さ6-20mm小腺毛を散生し、萼は5深裂し、裂片は卵円形である。花冠は壺状唇形で長さ10-15mm、淡黄緑色で上唇は下唇よりはるかに長く紫褐色をおびる。雄蕊4、雌蕊1。蒴果は卵形で先がとがり長さ6-10mm。和名はヒナノウスツボに似て北地殊に北海道蝦夷(エゾ)に多いので名付けられた。



第 3332 図

まるばたばこ

Nicotiana rustica L.

北米南部原産の1年生草本。タバコ(*N. Tabacum L.*)と共に本邦においても時に畠に栽培される。茎は高さ1-2m、やや多く分枝し、葉を疎に互生し、葉は濃緑色、厚質、卵形又は広楕円形、全縁、時にやや波状縁、鈍頭、葉柄は長く、翼はなく、茎と共に軟短毛を密布する。夏時茎頂に繖房花序をなして多数の花をやや密に開く。萼筒は円筒形で短かく、先端に5鈍歯があり、外面は細毛で覆われる。花冠は黄白色乃至緑黄色高盆状長さ1.5cm許、筒部は太く上端は少しく狭まり、基部は5浅裂し、裂片は円頭、時に微突端あり、5雄蕊、1雌蕊を内包する。



第 3333 図

ごしきとうがらし

Capsicum annum L. var.

花園に栽培し、或は鉢植として観賞する1年生草本。トウガラシの栽培変種で茎・葉等の性質はこれと同じである。茎は直立してやや剛壯。上方にて斜上方に分枝して円い叢をなす。葉は広披針形、濃緑色、上面光沢強く、下面は緑白、有柄、茎上1節に大小2-4葉が集まる。夏時梗を直立し、白色合弁花を下向又は側向して開き、花冠は輻状、深く5裂、萼は広鐘形5歯を有する。果実は球形であるが、先端は稍細まり、長さ1.5cm内外、直立上向して生じ、増大して盤状となる宿存萼を具える。成熟度により白、黄、橙赤、紫、紅の各色のものを同時に葉間に見ることを得るのでこの名がある。



なす科

なす科

なす科

なす科

なす科

なす科